

「自画撮り写真」をインターネットに投稿することの危険性について

自分で自分の姿を写した写真、いわゆる「自画撮り写真」をインターネットに投稿している人はいませんか。

最近では、自分で手軽に写真をきれいに加工できるアプリが人気を集めていることもあってか、「自画撮り写真」をSNSなどに投稿している人をよく見かけます。

しかし、こうした写真はトラブルの種になることも。今回は、「自画撮り写真」をインターネットに投稿することの危険性についてお話しします。

「自画撮り写真」がきっかけでストーカー被害にあうことも

「自画撮り写真」をインターネットに投稿することで起きるトラブルはたくさんあります。写真をアダルトサイトや出会い系サイトなどで勝手に使われたり、撮影禁止場所で撮ったものや、背景に知らない人が写りこんだものを投稿してしまって、それを見た人から非難のコメントが集まったり。

中でも特に危険なのが、**ストーカー被害**。インターネット上の投稿は、世界中誰でも見ることができるものです。みなさんが、友だちに見せるつもりで、日常の写真を投稿したとしても、その写真を**まったく知らない人が見ている可能性があります**。中には、SNSなどの写真を見て、投稿者に一方的に好意をいだき、ストーカー行為をする人も少なからずいるのです。



インターネットを使ったストーカーの被害はさまざまです。SNSなどに好意を寄せるコメントがしつこく送られてきたり、他のサイトに**ひぼう中傷の書き込み**をされたり。中には、家の前や学校の近く、通学路でまぢぶせされるなど、**つきまといの被害**にあうケースもあります。

インターネットに投稿された「自画撮り写真」には、**個人に関する情報が含まれているケースが多くあります**。自分の顔はもちろんですし、制服姿や部活動のユニフォーム姿で撮ったものを見れば、すぐに学校名がわかります。また、**学校帰りに撮った写真や家の近くで撮った写真の背景から、通学路や住んでいる地域が特定されることも少なくありません**。

「自画撮り写真」をインターネットに投稿することで、**自分の個人情報を世界中に公開している可能性もあります**。そのことをきちんと頭に入れ、顔がわかる状態の写真はインターネットに投稿しないよう注意しましょう。どうしても「自画撮り写真」を投稿したい場合は、写真加工アプリなどを使って、顔がわからない状態にしてください。

それから、写真の背後にも注意が必要。自分の個人情報につながるものが含まれていないか、必ず確認する習慣をつけましょう。